

事業所名

聴覚・ろう重複センター藤

児童発達支援 支援プログラム

作成日：令和7年1月20日

法人（事業所）理念		万人の願いである人間らしい生活の実現に向けて私たちは行動します。		
支援方針		聴覚またはろう重複障害児とその家族の方々の豊かな社会参加と自己実現を支援します。		
営業時間		平日：10：00～18：30 第二土曜、長期休暇：9：30～18：00	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	(1) 毎日の検温・手洗いを実施し、ひとりひとりの健康状態を把握します。 (2) 意思表示が難しい子どもの障害の特性や発達の過程・特性を考慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、細やかな観察を行います。 (3) 障害の特性に配慮し、聴覚支援に配慮しながら見通しを持って取り組める工夫を行います。		
	運動・感覚	(1) 遊びを通して、見る力、触れる力、操作する力、予測する力などが育つ環境を整えます。 (2) 遊びを通して、筋力の維持・強化を図ります。地域の環境資源として、公園や体育館などを積極的に活用します。 (3) さまざまな遊びなどを通して、本人らしさを大切に楽しく過ごせる環境を整えます。		
	認知・行動	(1) 写真や絵カード、カレンダー、スケジュールを提示する等、見てわかる環境を整備し、必要な情報を得やすくして概念の習得や認知機能の発達を促します。 (2) 一人ひとりに合った支援を行い、情報の取得、選択、行動に繋がります。 (3) 「できた！」という成功体験の積み重ねを大切に支援します。		
	言語 コミュニケーション	(1) 手話、指差しや身振り、文字や記号、絵カードなどの視覚的コミュニケーション手段を適切に活用して、より伝わる意思の伝達や環境の理解を支援します。 (2) 具体的な事物や経験と言葉の意味を結び付け、自発的な言語の習得・活用を促進します。 (3) 図画的に話やすく・伝えやすくできる環境を提供し、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする能力を支援します。		
	人間関係 社会性	(1) 遊びを通じて、模倣行動を促し、社会性や対人関係の発達を支援します。 (2) 一人遊びから集団による協同遊びへの移行を促し、相手の反応を感じながら自身の行動や感情が上手にコントロールできるよう支援します。 (3) 集団による遊びを通して、順番を守る等のルールの理解、一緒に喜び合うという気持ちの共有が育つよう支援します。		
家族支援		利用の報告を中心に、事業所でのご本人の様子を丁寧にお伝えします。 障害の特性に配慮し、個別に応じてその都度、相談・助言を行います。	移行支援	学校や保育所等と連携を図り、情報提供や調整、相談援助を行います。他学年との交流を大切にし、将来的な展望を考える機会を設けます。
地域支援・地域連携		他機関と連携を図りながら環境調整を行い支援に関する共通認識を持ちます。 ボランティア受け入れ等、地域住民との交流を大切にします。	職員の質の向上	法人内研修、外部研修に積極的に参加します。 OJTにより支援の専門的なスキルを磨き、人材育成に努めます。
主な行事等		通常の活動において、季節に合わせたイベントの経験を大切にします。（ハロウィンパーティー、クリスマス会、節分など）		